

# 社団法人日本透析医会通常総会資料

## 社団法人 日本透析医会通常総会

- 日 時 平成 5 年 5 月 16 日(日)午後 2 時  
 場 所 ホテルニュー神田 3 階 301 号室
1. 開 会
  2. 会長挨拶
  3. 議長選出
  4. 議事録署名人選任
  5. 議 事
    - 第 1 号議案 平成 4 年度事業報告及び収支決算の承認を求める件
    - 第 2 号議案 平成 5 年度事業計画及び予算の承認を求める件
    - 第 3 号議案 新役員承認を求める件
    - 第 4 号議案 その他
  6. 閉 会

### 第 1 号議案 平成 4 年度 事業報告書

#### I. 会 議

##### 1. 総 会

平成 4 年度 通常総会

平成 4. 5. 17

- 第 1 号議案 平成 3 年度事業報告及び収支決算の承認を求める件
- 第 2 号議案 平成 4 年度事業計画及び予算の承認を求める件
- 第 3 号議案 その他

##### 2. 理事会

平成 4. 5. 17 協議事項

- 平成 4 年度通常総会提出議案について
- 第 1 号議案 平成 3 年度事業報告及び収支決算の承認を求める件
- 第 2 号議案 平成 4 年度事業計画及び予算

の承認を求める件

第 3 号議案 その他

報告事項

- (1) 災害時救急透析医療システムの現状について
- (2) 医療廃棄物処理ガイドラインに対する医会の対応について
- (3) 医療費改定の厚生省保健医療局疾病対策課長通達について

### 3. 常務理事会

平成 4. 4. 25 協議事項

(臨時)

平成 4 年度通常総会の開催について

- (1) 平成 3 年度事業報告及び収支決算等について
  - (2) 平成 4 年度事業計画及び予算等について
  - (3) その他
- 報告事項
- (1) 年会費納入状況について
  - (2) 会員の入・退会者について
  - (3) その他

平成 4. 7. 11 協議事項

- (1) 創立 5 周年記念シンポジウムの開催について
  - (2) 臨床工学技士資格取得試験の延長について
  - (3) 業務委嘱契約について
  - (4) 医療法改正について
- 報告事項
- (1) 年会費納入状況について
  - (2) 会員の入・退会者について
  - (3) 職員の退職について

## (4) その他

## 平成4. 9. 19 協議事項

- (1) 膜分離技術振興協会からの指導要請について
- (2) 学会 (ASAIO) の助成について
- (3) HDの管理料について
- (4) その他

## 報告事項

- (1) 感染性廃棄物処理マニュアルについて
- (2) 創立5周年記念シンポジウムについて
- (3) 第7回腎移植推進国民大会の開催について
- (4) 年会費納入状況について
- (5) 会員の入・退会者について
- (6) データ更新登録状況について
- (7) 職員の採用について
- (8) その他

## 平成4. 11. 21 協議事項

- (1) 日本移植者スポーツ大会の開催について
- (2) 栃木県透析医会に対する助成について
- (3) 第7回腎移植推進国民大会の経費負担について  
本年度 6,401千円  
昨年度 6,433千円
- (4) その他

## 報告事項

- (1) 創立5周年記念シンポジウムについて
- (2) 第6回臨床工学技士国家試験施行について
- (3) 年会費納入状況について
- (4) 会員の入・退会者について
- (5) 職員の採用について
- (6) その他

## 平成5. 1. 23 協議事項

- (1) 日本透析療法学会と(財)日本透析医会の統計調査一本化について
- (2) 「第5回アクセス研究会」の開催につ

いて

- (3) 日本アフェレシス学会 (第13回、第14回) 及び日本胸部外科学会総会 (第47回) の助成について

- (4) その他

## 報告事項

- (1) 年会費納入状況について
- (2) 会員の入・退会者について
- (3) その他

## 平成5. 3. 27 協議事項

- (1) 平成5年度予算 (案) について
- (2) 診療報酬点数表の一部改正等について
- (3) その他

## 報告事項

- (1) 第5回アクセス研究会の開催について
- (2) 年会費納入状況について
- (3) 会員の入・退会者について
- (4) その他

## II. 委員会報告

## 1. 適正透析療法委員会

## (1) 第一委員会

透析導入者審査委員会設置支部 (新潟・栃木・愛知) に助成した。

## (3) 第三委員会

## (4) 第四委員会

(平成4年度2回合同開催)

- ① 平成4年度医療費改定についての説明会を開催した。

日 時 平成4年5月17日(日)

午後3時30分～午後5時

場 所 ホテルニュー神田

講 師 厚生省保険局医療課・課長補佐  
平野雄一郎

- ② 各支部から適正な透析医療の遂行に関する諸問題が提出、討議され、次回医療費改定に対する医会としての対応について協議した。

## (5) 第五委員会

昨年8月、「感染性廃棄物処理対策検討委員会」（厚生省諮問機関山中和代表）が「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」を作成答申し、直ちにこれが実行されることになった。したがって、従来の「医療廃棄物処理ガイドライン」は廃止となった。この細目については、昨年の日本透析医会雑誌vol.8 No.2（17号）に記載され、会員に配布されている。

透析器具に関しては、“無条件に感染性廃棄物とする”項目からはずされて、医師の判断のもとに「血液等」「血液が付着した鋭利なもの」「その他の血液が付着したもの」又は、非感染性廃棄物に分けることになった。

## 2. 災害時救急透析医療委員会

（平成4年度5回開催）

「災害時救急透析医療システム」の登録推進するための方策について検討した。

### (1) 登録状況（平成4年12月末現在）

施設登録数 1,217件、個人登録数 38,390人

### (2) 第一回更新登録回収状況（平成4年1月～9月末）

個人更新登録数 26,380人（更新率82.2%）

### (3) 第二回更新登録（平成5年3月開始）

各施設におけるアンケート記入作業の労力軽減を図るために、更新登録に当たっては①必須項目と②任意項目に分けて記入出来るように登録用紙の形式を改める。

### (4) 「災害時救急透析医療システム」についての説明会

日 時 平成4年11月17日～18日

場 所 佐賀県保険環境部

出席者

・佐賀県保険環境部

梶崎 近（次長）

揚松龍治（健康増進課長）

城島聖次（健康課長補佐）

深町昌司（疾病対策係長）

田中広幸（疾病対策主査）

・佐賀県透析医会

山口弾之（会長代理）

・(株)日本透析医会

鈴木 満（常務理事）

吉田豊彦（常務理事）

土屋 隆（委員長）

## 3. 合併症対策委員会

（平成4年12月開催）

平成4年12月委員会を開催し、「透析患者の合併症とその対策」シリーズとして「中枢神経障害」をとりあげ、執筆依頼中である。

## 4. 腎移植普及推進委員会

(1) 平成4年度腎移植推進月間及び第7回腎移植推進国民大会の助成を検討した。

(2) 同推進月間のポスター及び小冊子「献腎」、パンフレットを会員に配布した。

## 6. 研修委員会

（平成4年度3回開催）

(1) 研修用Videoの作成

「透析患者の画像診断」

石川 勲（金沢医科大学）

(2) 第5回アクセス研究会を開催した。

日 時 平成5年3月7日(日)

午後9時～午後4時50分

場 所 津田ホール

一般演題 24題

教育講演 「C型肝炎の臨床」

山内克巳（東京女子医科大学）

シンポジウム

「Blood Access狭窄の診断とその修復」

司会：阿部富弥・鈴木正司

参加人員 350名

- (3) 下記支部が開催した講習会・講演会に助成した。

支部名	会 場	開催年月日
青森県	弘前文化センター	平成4年4月12日
宮城県	長陵会館	平成4年12月13日
富山県	富山県中小企業研修センター	平成5年3月14日
三重県	三重県医師会館	平成5年3月7日
香川県	オークラホテル丸亀	平成4年9月19日

## 7. 広報委員会

第4回アクセス研究会抄録などによるVol.8 No.1 (16号)、各地区透析医会による透析状況報告などによるVol.8 No.2 (17号)及び創立5周年記念シンポジウム「透析患者のQOLと透析量」などによる記念特集号としてVol.8 No.3 (18号)を発刊し、全会員及び関係機関に送付した。

## 8. 情報管理委員会

(平成4年度2回開催)

災害時システムデータの使用申請依頼(3件)に対応し委員会を開催し慎重に検討の結果承認した。

## 10. 創立5周年記念シンポジウム実行委員会

創立5周年記念シンポジウム「透析患者のQOLと透析量」を開催した。

日 時 平成4年10月31日(土)

・シンポジウム

(午後1時～3時30分)

・祝賀会(午後4時～6時)

場 所 都市センター

司 会 中元 覚 (大雄会第一病院)

シンポジスト

エミール・パガニーニ

(クリーブランドクリニック)

アレン・コリンズ

(ヘネピンカウンティメディカルセンター)

平沢 由平

(信楽園病院)

前田 憲志

(名古屋大学医学部附属病院分院)

中川成之助

(東京多摩老人医療センター)

参加人員 200名

## III. 会務報告

4. 4. 10 日本透析療法学会と当医会とのコンピュータシステムに関する情報交換を行う。
4. 4. 13 平成3年度 会計監査実施。
4. 4. 27 厚生省保健医療局疾病対策課・梅田課長補佐に「災害時救急透析医療システム」の内款資料を提出。
4. 4. 27 厚生省保健医療局疾病対策課・有川勲課長ご令室葬儀に会長名で香典及び供花。
4. 4. 27 厚生省保険局医療課長に平成4年度医療費改定説明会の講師派遣の依頼。(鈴木、吉田両理事他1名)
4. 5. 12 厚生省保険局医療課・平野課長補佐に平成4年度医療費改定説明会における希望事項等の説明。(鈴木、吉田両理事他1名)
4. 5. 17 「創立5周年記念シンポジウム及び祝賀会」の開催について決定。
4. 5. 17 平成4年度医療費改定説明会開催。講師 厚生省保険局医療課・平野雄一郎課長補佐。
4. 5. 20 厚生省保健医療局疾病対策課に通常総会等報告。
4. 5. 25 職員 山口京子退職。
4. 5. 28 厚生省保険局医療課長より都道府県民生主管部(局)あて通知された「診療報酬点数表の一部改正等に伴う実施上の留意事項について(追加)」を各支部長及び末組織会員に発送。
4. 6. 10 静岡県透析医会 会長菅原博厚先生逝去。会長名、医会名で香典及び供花。

4. 6. 30 厚生大臣あて平成3年度事業報告及び収支決算並びに平成4年度事業計画及び予算等提出。
4. 7. 11 全腎協会長ほか関係者との懇談会開催（於：医会事務局）本会から稲生会長ほか常務理事4名出席。
4. 7. 21 被保険者報酬月額算定基礎届についての説明会。  
於：東医健保会館 事務局長 出席。
4. 7. 31 職員採用予定者と面接。
4. 8. 11 東京都医業健康保険組合へ被保険者報酬月額算定基礎届を提出。
4. 8. 13 厚生事務次官あて「平成4年度腎移植推進月間及び第7回腎移植推進国民大会」の後援についての承諾書提出。
4. 8. 13 厚生省保健医療局疾病対策課長あて「腎不全対策推進功労者厚生大臣感謝状贈呈候補者推薦の報告書提出。
4. 8. 19 「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」について常務理事及び第五委員会委員あて発送。
4. 8. 28 職員採用予定者と面接。
4. 9. 11 厚生省保健医療局疾病対策課に「平成4年度公益法人概況調査及び台帳の作成について」提出。
4. 9. 18 日本臨床工学技士会 会長ほか関係者との面談。  
（鈴木常務理事出席）
4. 9. 19 第2回日本移植者スポーツ大会の後援団体となることを了承。
4. 9. 21 職員 増田英子勤務。
4. 9. 22 「災害時救急透析医療システム登録事業の協力について」を厚生省保健医療局疾病対策課長通知（内款）として各都道府県衛生主管部（局）長あて通知された。  
（各支部長、委員、末組織会員あて発送）
4. 10. 3 第7回腎移植推進国民大会に会長出席（青森市）。
4. 10. 31 創立5周年記念シンポジウム「透析患者のQOLと透析量」及び祝賀会開催。（東京都）
4. 11. 2 職員 穴井啓子勤務。
4. 11. 10 第8回疾病対策懇話会開催。  
鈴木常務理事、事務局長出席。
4. 11. 13 膜分離技術振興協会 関係者（3名）との協議会開催。  
鈴木、吉田両常務理事他1名出席。
4. 11. 16 厚生省健康政策局書記室に石丸隆治先生（当医会理事）にかかわる叙勲申請に伴う功績調査を提出。
4. 11. 21 平成4年度腎移植推進月間及び第7回腎移植推進国民大会助成について決定。
5. 1. 23 日本アフェレンス学会（第13回、第14回）及び第47回日本胸部外科学会総会への助成を決定。
5. 2. 10 「社会保険診療報酬及び老人診療報酬改定の概要」について、各支部長あて発送。
5. 2. 12 厚生省保健医療局疾病対策課に「保健医療局許可法人研修会の開催について」の出席者提出。
5. 3. 15 厚生省保険局医療課長より都道府県民生主管部（局）あて通知された「診療報酬点数表に係る実値上の留意事項について」を各支部長あて発送。
5. 3. 18 「保健医療局許可法人研修会」開催。  
鈴木常務理事、事務局長出席。

## 平成4年度収支決算書

## 1. 収支計算書(平成4年4月1日から平成5年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	平成4年(案)	決 算 額	差 異	備 考
I 収入の部				
1. 会費収入	68,000,000	69,338,000	1,338,000	
2. 入会金収入	2,000,000	4,600,000	2,600,000	
3. 受講料収入	0	0		
4. 寄付金収入				
寄付金	0	4,860,000	4,860,000	
助成協賛金等	40,000,000	57,580,000	17,580,000	
寄付金収入合計	40,000,000	62,440,000	22,440,000	
5. 受取利息収入	13,000,000	17,444,357	4,444,357	
6. 雑収入		229,870	229,870	
7. 会場収入		351,000	351,000	
当期収入合計(A)	123,000,000	154,403,227	31,403,227	
前期繰越収入差額	109,000,000	109,480,701	480,701	
収入合計(B)	232,000,000	263,883,928	31,883,928	
II 支出の部				
1. 事業費				
透析医療適正化事業費	8,360,000	2,513,479		
地域透析医療システム事業費	92,300,000	31,616,675		
腎移植普及推進事業費	7,800,000	6,401,152		
腎不全予防医学調査研究費	3,200,000	500,000		
研修等事業費	10,000,000	4,155,926		
広報活動費	11,000,000	4,032,382		
その他の事業費	46,950,000	73,164,950		
事業費合計	179,610,000	122,384,564	△ 57,225,436	
2. 管理費				
人件費	20,000,000	16,885,343		
家賃	7,000,000	6,902,738		
その他経費	12,545,000	10,046,514		
管理費合計	39,545,000	33,834,595	△ 5,710,405	
3. 固定資産取得支出				
災害時システム設備支出		11,607,070		
固定資産取得支出合計		11,607,070		
4. 予備費	6,000,000	0		
5. 基本財産組入額	0	0		
当期支出合計(C)	225,155,000	167,826,229	△ 57,328,771	
当期収支差額(A)-(C)	△ 102,155,000	△ 13,423,002	88,731,998	
次期繰越収支差額(B)-(C)	6,845,000	96,057,699	89,212,699	

## 2. 正味財産増減計算書(平成4年4月1日から平成5年3月31日まで) (単位:円)

科 目	金 額		
I 増加の部			
1. 資産増加額			
災害時システム設備購入額	11,607,070		
増加額合計		11,607,070	
2. 負債減少額			
退職引当取崩額	689,385		
減少額合計		689,385	
増加額計			12,296,455
II 減少の部			
1. 資産減少額			
当期収支差額	13,423,002		
建物附属設備減価償却額	22,203		
什器備品減価償却額	1,374,839		
災害時システム設備減価償却額	15,571,392	30,391,436	
2. 負債増加額	0	0	
減少額合計			30,391,436
当期正味財産減少額			18,094,981
前期繰越正味財産額			441,130,678
期末正味財産合計額			423,035,697

## 3. 貸借対照表(平成5年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	99,864,134		
仮払金	92,565		
流動資産合計		99,956,699	
2. 固定資産			
基本財産			
定期預金	270,000,000		
基本財産合計	270,000,000		
その他の固定資産			
建物附属設備	134,155		
什器備品	3,173,654		
災害時システム設備	46,931,505		
電話加入権	388,684		
保証金	6,350,000		
その他の固定資産合計	56,977,998		
固定資産合計		326,977,998	
資産合計			426,934,697
II 負債の部			
1. 流動負債			
その他預り金	662,000		
預り金	3,237,000		
流動負債合計		3,899,000	
負債合計			3,899,000
III 正味財産の部			
正味財産			423,035,697
(うち基本金)			(270,000,000)
(うち当期正味財産減少額)			( 18,094,981)
負債及び正味財産			426,934,697



## 4. 計算書類に対する注記

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却について

有形固定資産については、定率法による減価償却を実施している。

## (2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金、及び仮払金、未払金、及び預り金を含めている。

なお、当期末残高は、下記3に記載するとおりである。

## 2. 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	270,000,000	0	0	270,000,000
合計(基本金)	270,000,000	0	0	270,000,000

## 3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高
現金預金	99,864,134
仮払金	92,565
合 計	99,956,699
その他預り金	662,000
預り金	3,237,000
合 計	3,899,000
次期繰越収支差額	96,057,699

## 4. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	322,907	188,752	134,155
什器備品	16,534,170	13,360,516	3,173,654
災害時システム	97,453,085	50,521,580	46,931,505
合 計	114,310,162	64,070,848	50,239,314

## 5. 財産目録(平成5年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	
現金 現金手許有高	26,548
普通預金 三菱銀行神田支店	2,390,719
住友銀行神田支店	266,515
第一勧業銀行神田支店	24,424
さくら銀行神田支店	106,782
あさひ銀行神田支店	3,960,318
郵便振替	255,890
定期預金 三菱銀行神田支店	92,832,938
仮払金	92,565
流動資産合計	99,956,699
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
定期預金 三菱銀行神田支店	270,000,000
(2) その他の固定資産	
建物付属設備	
間仕切工事	134,155
什器備品	
会議用テーブル	77,151
会議用椅子	252,000
事務用椅子	42,315
FAX及びソーター	28,105
ワードプロセッサ	82,452
パーソナルコンピューター	67,847
ゼロックスコピー機	164,555
IBM S38	611,227
IBM ソフト	1,538,350
NEC PC980	119,366
明光MSシュレッター	190,286
災害時システム設備	
建物付属設備	
電源増設工事	1,668,062
日本ユニシス2200設備工事	3,142,079
什器備品	
日本ユニシス2200/200SX	19,097,297
日本ユニシス ソフト	22,779,590
ゼロックスFAX	244,477

(単位：円)

科 目	金 額		
電話加入権	388,684		
保証金 淡路建物ビル保証金	6,300,000		
警備保証金	50,000		
その他固定資産合計	56,977,998		
固定資産の合計		326,977,998	
資産合計			426,934,697
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金 職員等に対する源泉所得住民税	237,000		
その他預り分	500,000		
翌年度会費預り分	162,000		
預託金	3,000,000		
流動負債合計		3,899,000	
負債合計			3,899,000
正味財産			423,035,697

## 管理費内訳

給 料	13,949,809
賃 金	122,738
法定福利費	1,380,661
通 勤 費	667,510
退 職 金	764,625
旅費交通費	588,730
会 議 費	39,344
交際接待費	527,685
福利厚生費	79,004
印刷製本費	346,910
通信運搬費	997,971
消耗品費	555,700
委 託 費	3,885,536
報酬(要源泉)	666,666
水道光熱費	598,110
リースレンタル	6,902,738
諸 会 費	298,726
租 税 公 課	400
テープリライト	48,000
雑 費	268,491
常任理事会費	542,122
総会・理事会費	603,119
合 計	33,834,595

## 第2号議案 平成5年度事業計画書(案)

### 事業計画の概要

#### 1. 透析医療の適正化に関する調査・研究事業

- ① 適正な透析療法の検討に関する調査・研究

##### 適正透析療法委員会

- \* 透析療法の質的向上と普遍化を目的とする調査・研究

##### 第一委員会

適正な導入時期に関する調査研究

##### 第二委員会

適正な維持透析療法に関する調査研究

##### 第三委員会

同上の療法の普及推進を行う

##### 第四委員会

適正な透析医療経済に関する調査研究

##### 第五委員会

医療廃棄物対策に関する調査研究

##### 第六委員会

在宅治療の(CAPD・家庭透析等)の適応基準の調査・研究

#### 2. 地域透析医療システムに関する調査・研究

- \* 透析施設間の相互連携による地域透析医療システムを確立するための調査・研究

- ① 災害時における救急透析医療システムの作成に関する調査・研究

##### 災害時救急透析医療委員会

- イ 施設登録・患者登録の調査、入力及び検証に関する事業
- ロ コンピュータ化に伴う他委員会との整合性の検討
- ハ ブロック別災害時救急透析医療システムの構築
- ニ 災害等のための患者透析登録証の発行
- ② 長期透析患者の合併症に対する調査研究

##### 合併症対策委員会

- イ 透析導入の初発原因(原疾患・病因等)に関する調査・研究
- ロ 患者の高齢化に伴う収容施設の相互連携化に対する調査・研究
- ハ 患者の長期生存に伴い発生する合併症及びその原因に対する調査・研究

#### 3. 腎移植普及推進に関する事業

##### 腎移植普及推進委員会

- \* 会員および患者に対しての協力・普及を目的とする。
- イ 腎移植推進月間・腎バンク及び地方腎移植推進システムへの協力事業
- ロ 会員に対する腎移植の啓発・教育事業(脳死問題を含む講演会及び腎移植広報活動等)
- ハ 患者に対する腎移植推進事業(会員の日常業務として、地区患者を対象とする推進事業)
- ニ 関係団体への協力事業(医療施設や遺族に対するドネーションの啓発)
- ホ 腎移植コーディネーター問題の研究

#### 4. 腎不全予防医学の調査・研究事業

##### 腎不全予防医学調査研究委員会

- \* 透析導入を予防し残腎機能を維持させるための事業
- イ 透析導入前の慢性腎不全患者に対する保存的維持療法の調査・研究事業
- ロ 関係団体への協力事業

#### 5. 研修等事業

##### 研修委員会

- イ 腎不全臨床医療スタッフの研修会の開催

- ロ 研修用ビデオの制作及び出版事業
- ハ 関係学会・団体との研究協力
- ニ 国内講演会等の開催

#### 6. 広報活動及び刊行物の発行に関する事業

##### 広報委員会

- \* 機関誌等の発行
  - イ 雑誌 1,500部（年4回発行）
  - ロ 名簿 1,200部

#### 7. その他の事業

##### 情報管理委員会

- \* 医会が行う各種のアンケート調査結果の管理運用

## 平成5年度予算(案)

## [収入の部]

(単位：円)

区 分	平成4年度予算	平成5年度予算(案)	増 減
1. 会費収入	68,000,000	70,000,000	2,000,000
2. 受取利息	13,000,000	9,000,000	△ 4,000,000
3. 入会金収入	2,000,000	4,000,000	2,000,000
4. 前年度繰越金	109,000,000	95,000,000	△ 14,000,000
5. 寄附金収入	40,000,000	60,000,000	20,000,000
6. 雑収入			
計	232,000,000	238,000,000	6,000,000

## [支出の部]

(単位：円)

区 分	平成4年度予算	平成5年度予算(案)	増 減
1. 事業費	179,610,000	182,380,000	2,770,000
2. 管理費	39,545,000	39,953,000	408,000
3. 予備費	6,000,000	6,000,000	0
4. 次年度繰越金	6,845,000	9,667,000	2,822,000
計	232,000,000	238,000,000	6,000,000

区 分	平成4年度予算	平成5年度予算(案)	増 減
基本財産累計	270,000,000	270,000,000	0

## 支出の部内訳

(単位：円)

区 分	平成4年度予算	平成5年度予算(案)	増 減
I. 事業費(調査研究事業費)	179,610,000	182,380,000	2,770,000
(1)透析医療の適正化	8,360,000	7,330,000	△ 1,030,000
(1) 第一委員会	( 1,750,000)	( 1,750,000)	( 0)
(2) 第二委員会	( 2,360,000)	( 1,330,000)	(△ 1,030,000)
(3) 第三委員会	( 2,000,000)	( 2,000,000)	( 0)
(4) 第四委員会	( 1,000,000)	( 1,000,000)	( 0)
(5) 第五委員会	( 800,000)	( 800,000)	( 0)
(6) 第六委員会	( 450,000)	( 450,000)	( 0)
(2)地域透析医療システム	92,300,000	77,100,000	△15,200,000
(1) 災害時救急透析医療委員会	( 86,500,000)	( 71,500,000)	(△15,000,000)
(2) 合併症対策委員会	( 5,800,000)	( 5,600,000)	(△ 200,000)
(3)腎移植普及推進	7,800,000	7,800,000	0
(4)腎不全予防医学の調査研究費	3,200,000	700,000	△ 2,500,000
(5)研修等事業費	10,000,000	12,000,000	2,000,000
(6)広報活動費	11,000,000	13,000,000	2,000,000
(7)その他の事業	46,950,000	64,450,000	17,500,000
(1) 情報管理委員会	( 1,200,000)	( 1,200,000)	( 0)
(2) 内規委員会	( 250,000)	( 250,000)	( 0)
(3) 学会助成費	( 40,000,000)	( 60,000,000)	( 20,000,000)
(4) シンポジウム費	( 5,500,000)	( 3,000,000)	(△ 2,500,000)
II. 管理費	39,545,000	39,953,000	408,000
(1)人件費	20,000,000	21,000,000	1,000,000
(2)家 賃	7,000,000	7,000,000	
(3)その他の経費	12,545,000	11,953,000	0
			△ 592,000
III. 予 備 費	6,000,000	6,000,000	0
IV. 次年度繰越金	6,845,000	9,667,000	2,822,000
V. 基本財産組入額	0	0	0
計	232,000,000	238,000,000	6,000,000

## 役員名簿

役 職 名	氏 名	現 職
名 誉 会 長	稲 生 綱 政	医療法人大坪会東和病院 院長
会 長 (甲信越)	平 沢 由 平	社会福祉法人信楽園病院 院長
副 会 長(北海道)	今 忠 正	札幌北クリニック 院長
〃 (関 西)	藤 田 嘉 一	医療法人五仁会住吉川病院 顧問
事 務 理 事 (関 東)	鈴 木 満	医療法人松園会 理事長
常 務 理 事 (関 東)	吉 田 豊 彦	医療法人誠仁会 理事長
〃 (中 部)	山 崎 親 雄	医療法人衆済会増子記念病院 院長
〃 (関 西)	飯 田 喜 俊	藍野学院短期大学 看護学科 教授
理 事	太 田 和 夫	東京女子医科大学 教授
	翁 久次郎	財団法人厚生年金事業振興団 理事長
	小 出 桂 三	帝京大学医学部 教授
	石 丸 隆 治	財団法人ヒューマンサイエンス振興財団 専務理事
	前 田 憲 志	名古屋大学医学部 教授
	藤 見 惺	福岡赤十字病院 内科部長
	中 川 成之輔	東京都多摩老人医療センター 循環器科医長
	松 田 鈴 夫	医事評論家 (前 時事通信社)
(北海道)	猪野毛 健 男	いのけ医院 院長
(東 北)	関 野 宏	医療法人宏人会 理事長
(東 北)	村 上 秀 一	医療法人三良会村上新町病院 院長
(関 東)	奥 田 健 二	医療法人開生会奥田クリニック 院長
(甲信越)	土 屋 隆	医療法人輝山会記念病院 院長
(中 部)	鈴 木 信 夫	医療法人研信会 理事長
(関 西)	山 川 眞	医療法人仁眞会 理事長
(関 西)	澤 西 謙 次	京都大学医学部 講師
(中 国)	辰 川 白 光	医療法人辰川会 理事長
(中 国)	高 杉 敬 久	博愛病院 院長
(四 国)	寺 尾 尚 民	医療法人高賢会 理事長
(九 州)	後 藤 宏一郎	後藤クリニック 院長
(九 州)	工 藤 寛 昭	工藤医院 院長
(九 州)	牧 角 仙 然	医療法人明星会 理事長
監 事 (甲信越)	大 森 伯	大森内科医院 院長
(関 東)	高 宮 治 生	栃木県厚生連下都賀総合病院 院長
(九 州)	山 口 弾 之	医療法人至誠会 理事長